

名古屋市熱田生涯学習センターで防災講座を行いました

令和8年9月1日（火）、名古屋市熱田生涯学習センターで、令和8年度前期講座「Let's try！体験で学ぶ防災」の受講者15名に、「A I・V R・実験で体験～自然災害のリアル～」と題して水害と地震の防災講座を行いました。

水害の講座では、熱田区でも被害があった伊勢湾台風を始め、今年で50年の節目を迎える9.12豪雨や東海豪雨など過去の水害や令和8年8月千葉豪雨・北陸地方の大雨など最近発生した水害について説明しました。また、V Rによる浸水疑似体験や伊勢湾台風A I語り部との対話体験、浸水時のドアにかかる水圧体験を行い、「浸水被害の恐ろしさを良く理解できた」「A Iの知識はすごい」「素早い行動が必要」「自分の命は自分で守る事が一番大切」との感想がありました。

地震の講座では、今年の7月に発生した熊本地震や令和6年能登半島地震、135年前の濃尾地震の特徴や被害について説明しました。また、模型・ペットボトルの実験を通して地盤の液状化現象や長周期地震動について説明し、南海トラフ地震で想定される震度・液状化などをハザードマップで確認しました。

講座後には、地震が発生した際の自宅での身の守り方や地震の予測、自宅付近の活断層など地震に関する質問が多くあり、関心の高まりが伺えます。

今後も多様な機関と連携し、防災意識向上に向けた取組を進めてまいります。

